

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年3月27日（木）11：00～11：30

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：岩月会長（WEB）、原口副会長、上野専務理事

内容・提出資料：

1. テレビアニメ「薬屋のひとりごと」コラボお薬手帳の増刷・再度の販売について （令和7年3月6日 日薬総発第35号）

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

先般ご案内のアニメ「薬屋のひとりごと」とコラボしたお薬手帳については、この3月初旬から会員施設にて活用を開始しているが、大変好評を得ており、この度、増刷を決定し、3月19日に各都道府県薬剤師会からの発注を締め切った。当初作成した113万部を大幅に上回る注文があった。印刷を進め、4月下旬から5月にかけて地域薬剤師会を通じて会員にお届けし、引き続き活用いただく予定である。

2. 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催に伴う毒物及び劇物の適正な保管管理について （令和7年3月12日 日薬業発第487号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

爆発物の原料となりうる劇物等の適正な管理等の徹底については、かねてより都道府県薬剤師会に対して周知している。今回、厚労省医薬局医薬品審査管理課長通知にて、本会宛て、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催に備え、危害の発生を未然に防止する観点から、毒物・劇物についてあらためて適正な保管管理、販売時における法令順守並びに身元確認の徹底と盗難・紛失等が発生した場合の対応を求める内容について連絡を受けたため、都道府県薬剤師会を通じて会員に周知したところである。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈上野専務理事の就任にあたって〉

記者：早急に取り組まれる課題は何か。

上野専務理事：これまでの行政としての経験を生かしながら、地域医薬品提供体制の構築を早急に実現するため、しっかりと進めていきたい。様々な課題があり、自身一人の力でどうにかなるというものではない。常時、日薬の事務所にいることから、役員間、役員と事務局間が連携を図れるよう、つなぎの役割を果たしたい。

岩月会長：全て期待している、コアになる方が常時、日薬の事務所におられるというのは、全役員にとって大きな力になる。

〈OTC類似薬の保険給付見直しについて〉

記者：保険薬局経営者連合会が、OTC類似薬の保険給付見直しに関する貴会ほかの反対意見に対し、賛成の意見を打ち出されたことについて見解はいかがか。

岩月会長：色々な団体の方が様々なお考えをお持ちになることについて否定しない。現段階では、見直しの提案に関する詳細が不明であるためコメントは差し控える。

記者：これまでのご発言から、患者の医療アクセスの面で改善にならないため反対する、と

いうように受け止めていたが、反対とも賛成とも言いかねるということで差し支えないか。
岩月会長：本会は、OTC 類似薬を含めて、医薬品アクセスを改善する、間口を広げるということを上申してきた。そういった趣旨で議論が進むのであれば問題はないが、どのように実現するかが現段階では全く分からないため、コメントのしようがないということである。

次回の定例記者会見は、令和7年4月10日（木）11：00～を予定。